

<参考> 目標設定のポイント

学年や学級の教育課程や年間指導計画との関連を図りながら、一人ひとりの幼児児童生徒の障害の状態等に応じた目標を設定します。

評価や改善の充実のためには、「具体的」で「達成可能」な目標設定が重要です。

<目標設定のポイント>

年間指導目標

優先順位を考えて課題をリストアップします。

- ・優先順位を考える際の観点

必要性	緊急性	成果への期待	取り組みやすさ	達成の可能性	等
-----	-----	--------	---------	--------	---

「個別の教育支援計画」を作成している場合は、支援計画の長期目標や重点目標を踏まえるようにします。

また、必要に応じて、幼児児童生徒や保護者の方の思いを踏まえます。



学期の指導目標

長期目標を踏まえ、より具体的な目標を設定します。

- ・目標を設定する際の留意事項

具体的な記述（いつ、どこで、何を、どのように）
スモールステップを意識した記述
評価が可能な記述（条件や基準値等を設定 具体的な評価）

抽象的な言葉でとどめず、具体的な姿を想定する。

（例）×「親しむ」「楽しむ」

「～という親しみ方をする」「～という楽しみ方をする」

複数の行動や要素を含めない。

（例）×「好きな物ものを選び、使って楽しむ」

「～の方法で二つから一つを選ぶ」

解釈が多様化する表現でとどめず、目標の範囲や条件を限定する。

（例）×「係の仕事をやりとげる」

「すべての机を一人で隅々まで拭く」

担任一人ではなく、校内委員会等で、いろいろな立場の教職員で目標の優先順位を考え、具体的な記述を検討していくことで、教職員間の共通理解を図ることができ、全校体制での指導や支援につながります。

